

平成27年度「先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業」CO2削減効果 記入表

平成30年度 実績

補助事業者名	丸善製菓株式会社	実施場所	大阪府大東市平野屋新町2番1号	報告日	平成31年4月2日
補助事業の名称	先進技術を利用した省エネ型自然冷媒機器普及促進事業			事業番号	環補27126
連絡先 所属・氏名	総務部 総務室 総務室長・片山 晴義	TEL	072-871-5656	e-mail	maruzen.somu@kh.biglobe.ne.jp

	初年度実運転期間 開始: 28年02月01日 終了: 28年03月31日	CO2換算量 (ton/実期間)	CO2換算量 (ton/年)				累 計 CO2換算量 (ton)	備 考
			H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)		
完了実績報告書に 記載した削減計画値	① エネルギー起源CO2量(比較対象フロン冷媒機器 or 撤去した機器)	103.3	620.1	620.1	620.1	1,963.6		
	② エネルギー起源CO2量(省エネ型自然冷媒機器)	86.7	520.4	520.4	520.4	1,647.9		
	③ エネルギー起源CO2削減量(①-②)	16.6	99.7	99.7	99.7	315.7		
	④ 冷媒漏洩CO2換算削減量	65.2	391.2	391.2	391.2	1,238.8	比較対象フロン冷媒機器 or 撤去した機器 との差	
	⑤ 合計削減量(③+④)	81.8	490.9	490.9	490.9	1,554.5		
削 減 実 績 値	⑥ エネルギー起源CO2量 実測値	34.0	197.9	181.4	95.3	508.6		
	⑦ エネルギー起源CO2削減量 (①-⑥)	69.3	422.2	438.7	524.8	1,455.0		
	⑧ 合計削減量(④+⑦)	134.5	813.4	829.9	916.0	2,693.8		
排出削減量の差(⑤-⑧)=⑥-②=③-⑦)		-52.7	-322.5	-339.0	-425.1	-1,139.3		

1. 初回報告では、実運転期間と実測結果を記入の上、実測データ・計算式等を記載した説明書ならびに根拠(エビデンス)を添付してください。(計画値も実運転期間に合わせた値としてください)
2. 2回目以降の報告では、年間の計画値と実測値を記入の上、12カ月の実測データ・計算式等を記載した説明書ならびに根拠(エビデンス)を添付してください。
3. 報告年度に係らず、本表には初年度からの報告済数値を必ず記載してください。(初年度の報告は初年度のみの記載となります)

特記事項(報告年度の削減計画値と削減実績値とに格差(排出削減量の差)が生じた場合は、その理由について具体的に記入してください)

目標削減量490.9tonのところ削減実測値916.0tonとなり、+425.1ton(186.6%)の大幅な削減量となりました。本事業により導入しました省エネ型自然冷媒機器が昨年度同様に予想以上の成果を上げていることが確認できました。